

日本語勉強会ついにスタート

本年4月に地域おこし協力隊に着任したホーティヌークインさんとグエントゥフォンさんの2人は町内に在住しているベトナム人技能実習生等のサポートを行っていくにあたり日本語勉強会を計画していました。新型コロナウイルス感染症の影響により開催できない状況が続いていましたが、7月12日、ついに第1回目の勉強会を開催することができました。



ホーティヌークイン



グエントゥフォン

地域おこし協力隊着任と 新型コロナウイルス感染症の影響

4月1日に辞令交付式が行われ地域おこし協力隊に着任した二人。妹背牛町では現在、佐藤鑄工株式会社とホクレン包材株式会社の二社でベトナム人技能実習生等の受け入れを行っています。「ベトナム人と日本人の交流をより深めるお手伝いがしたい」と話し、実習生の皆さんのサポートなど、これからの活動に胸を高鳴らせていました。

しかし、新型コロナウイルス感染症の影響から、思ったような活動ができない日々が続きました。いつ活動ができるかわからない中でも技能実習生に向けたアンケート調査や教材の選定など、日本語勉強会へ向けた準備を進めてきました。

ついに日本語勉強会を開講

緊急事態宣言の解除を受けて調整を行い、7月12日に町民会館で日本語勉強会を開催しました。今回は1回目ということで、これから勉強会をどのように進めていくかの話し合いが中心。クラスはそれぞれの目的やレベルにあわせ4つに分けられました。



◀会話クラス1ではゴザの上に座って、リラックスした雰囲気での相談会を行いました。



▶会話クラス2は終始賑やかに、楽しく授業が進んでいきました。

前半は会話クラス1と会話クラス2の授業を開講。会話クラス1は日本語能力試験※のN4以上のレベルのクラスで、会話クラス2はN5レベルの日常会話を重視したクラスです。後半は検定へ向けた勉強を行う試験対策クラスの授業がレベル別に分けられ行われました。

日本語勉強会に参加してみても

勉強会参加者 レティキムフエさん(写真右)
チューグエンガンハーさん(写真左)

テキストの内容も面白いし、楽しい雰囲気でした。町民の方とスムーズに会話ができると嬉しいので、それを目標に頑張りたいと思います。



3年住んでいますが仕事のことや生活のことでわからないことも多いです。これからたくさん勉強したいと思います。

第1回日本語勉強会を終えて

地域おこし協力隊 ホーティヌークインさん(写真右)
グエントゥフォンさん(写真左)

参加者の皆さんは思っていたより積極的で嬉しかったです。日本の文化についても学びたいという声があったり、日本語に自信がなくて日本人に話しかけられないという人が多いようなので、勉強会を通して交流を深めながらそれを解消していきたいです。



※ 日本語能力試験…日本語を母語としない人を対象に日本語能力を認定する検定試験。最上級のN1から、N5まで5段階のレベルがある。